



▲成金社長は吉本の漫才師、前田

反則ギリギリの荒技 華あるラフCM!

プロレスのチヨークスリパーは、頸動脈を締め、相手の呼吸を止める反則ギリギリの高等技術だ。で、「500年ほまたないゼロの家」なんて、言ってるのけるゼロコーポレーション(以下、ゼロ)のCMは、チヨークスリパーな作品だ。

だって、自社製品に対して否定形。広告ってのは本来、商品の良さを様々な工夫やコピーでPRするモノなのよ……。『500年もつ住宅自体あり得ません。ゼロの家は、500年ほまたないけれど国土交通省の基準である50年〜60年間(2世代間)は十分にもつという意味です』と、広報担当さん。

→ CMローカル線

ププツと

関西

～関西ローカルCMを
ぶらり探訪～

● 今回の停車駅 ●

「ゼロコーポレーション
・ゼロの家」CM



聞くところによると、以前は、「500年に一度の台風にも倒れません」というコピーだったらしいが、「500年もつ家ですか!」と、勘違いの問い合わせが殺到したらしい。今回は、それを逆手に取って「500年ほまたない!」にしたという訳。すると今度は、「CMの意図が分からない」との問い合わせが多発してるそう。でも、その度に広報が丁寧に説明するわけだから、キツチリPRになってるんだな。

プロレスだって、クリートファイトでないにしろ、華のあるラフファイターが正統派よりも人気を集めたりする。このCMにも同じことが言えそうで……。

ププツと注目



プロには出来ない大胆発想

成金社長が固いの狂者に家を買ってやるとき剛毅な注文をつけるが、ゼロの社員に「500年もつ家はない」と、たしなめられる設定は、シナリオも演出も全て同社の社長が担当。プロのクリエイターには、「作れない」大胆発想なのだ。